



## Derogation obtained for ATO in EU Ecolabel



### EUエコラベルでATOの有害性分類の適用除外を取得

i2aは2011年第4四半期から繊維とベッドマットレスの、そして2013年の第1四半期からはテレビとコンピュータのディスプレイ、パソコンやノートパソコンのEUエコラベル基準の改正に積極的に貢献しています。我々は科学的なデータを用いて、三酸化アンチモン（ATO）を難燃相乗剤としての使用に関する「制限物質リスト」から削除することを目指しています（ATOはR40/H351に分類されているため、これまでは出来なかった）。その根拠として、エコラベル規定に、物性が加工によって変化し、もはや有害性に適合しなくなれば、有害性分類の適用が除外されるとあります。2014年6月に公表された繊維とベッドマットレスの基準改正で、公式に適用が除外されました！このことはエコラベル証明書を申請しようとする企業が繊維にATOを使用し続けることが出来ることを意味しています！一方、このことは現在進行中で我々が同じく適用除外を目指しているテレビとパソコンのエコラベル基準改正の強力な前例となります。

i2aは現在、世界の43社の会員で構成されています（正会員39社、賛助会員4社）。我々は既に世界的なアンチモン産業の80%以上を代表していますが、2014年度の我々の目標は、国際的なEHS（環境・健康・安全）問題に共に取り組むために、アンチモンとアンチモン化合物のすべての鉱山業者、生産者、取引業者、さらにユーザーにも働きかけることです。i2aは非営利団体であるため、より多くの企業が加入すれば、会費の支払額はより少なくなり、世界のアンチモン産業の環境・健康・安全問題をより一層擁護することができます。

## REACH like systems to be monitored

### 監視すべきREACH類似システム

i2aの8種類のアンチモン物質は各々の先導登録者によってEU-REACHに登録されました。i2aはREACHに適応するため、毎年、REACH資料を更新する必要があるか調べます。i2aのすべてのアンチモン物質を評価した結果、リスク管理処置（マスク、手袋や排気換気装置）を考慮すれば、労働者や川下ユーザーが安全に生産、使用できることが示されています。我々のアンチモン物質はすべて、EU-REACHの下で高懸念物質、規制物質または認可物質に指定されていません。我々はUVCB（未知または可逆的組成物）を取扱っていないので、EU-REACHの下で資料提出の資金を負担する必要はありません。

しかし、世界中の多くの地域でEU-REACHに類似したシステムが出現しており、我々のメンバーのビジネスに影響を及ぼしています（例えば、韓国、中国、日本、トルコ...）。i2aはこれらのREACH類似システムにも焦点を当て、i2aメンバーに支援と調整を提供します。2015年1月1日に施行される韓国REACHシステムが我々の重要な課題です。

ある種のi2a物質の（EU域内外での）REACH登録を予定している企業は、該当するREACH登録データに合法的にアクセスできるオプションについて協議するため、早急に我々にご連絡下さるようご案内します。

## Press release: industry urges regulators to give full recognition to the OSOR principle

### プレスリリース：規制当局に一物質登録原則を最大限承認するよう要請

i2aはREACH登録のフリーライダー問題に直面しています。当該企業は既存の三酸化アンチモン（“ATO”, CAS 1309-64-4）REACH登録資料のデータを流用してATOをREACH登録しました。当該企業は第2の共同提出窓口を開設し、インターネット上で入手可能なデータをコピーしました。ATOはOECDスクリーニングを受けたESR 793/93に基づくリスク評価で承認され、2010年以降、ECHAのウェブサイトですべてのデータが公開されているため、データは容易に流用できます。Eurometaux、ECHA、欧州委員会、イタリアのREACH担当部局と議論を重ねた結果、当局はこれを違法な流用であり、また、共同提出が複数存在することは違法とみなしていると思われます。この問題に関する我々のプレスリリースは[website \(publications page\)](#)に掲載されています。i2aは高品質の登録資料を提出、堅持することを約束します。i2aはまた、SIEFプロセスへの投資、とりわけ一物質登録原則の順守がすべての現在及び潜在的なREACH登録者に尊重されていることを保証します。さらに、執行システムがEU加盟国全体を通じて有効かつ一貫性のある方法でフリーライダーを排除することを保証します。

## Focus on downstream user communication in 2014

### 2014年の焦点は川下ユーザーとのコミュニケーション



i2aは過去13年間、科学的なデータの収集と作成に活動の大部分を費やしてきましたが、2014年の我々の目標はその科学的な活動の成果を川下ユーザーに伝えることです。我々のメンバーが川下ユーザーにレターを送付し、i2a事務局は川下ユーザー団体と連絡を取ります。i2aとそのメンバーは会議に出席し、アンチモンとアンチモン化合物についての我々の主要なメッセージを広めます。

- 業界の長年の経験と科学的事実が安全性と有効性を証明しています。
- アンチモンとアンチモン化合物を回避又は代替する科学的な理由はなく、認定されたすべての川下用途で安全に使用することが出来ます。
- アンチモンと化合物の安全性は単に業界が主張しているだけではなく、世界中の当局によって評価、確認されています。

i2aメンバーはi2aラベルによって容易に識別することが出来ます。それは我々が企業責任を果たし、世界的な規模で環境とヒト健康、安全と規制遵守に対して継続的に投資していることを示しています。

## Upcoming events

### 今後の行事予定

2014年11月 5日： i2a 理事会（ブリュッセル）

2014年11月 6日： i2a 総会（ブリュッセル）

## i2a contacts (i2a連絡先)

<i>Function</i>	<i>Name</i>	<i>e-mail</i>	<i>Telephone</i>
Chair BOD	Geert Krekel	<a href="mailto:geert.krekel@campine.be">geert.krekel@campine.be</a>	+32 (0) 14 601 549
Chair GA	Raymond Devaux	<a href="mailto:devaux@amg-antimony.com">devaux@amg-antimony.com</a>	+33 323 40 35 30
Treasurer	Frank Linkert	<a href="mailto:f.linkert@goldmann.de">f.linkert@goldmann.de</a>	+49 521 932 7844
Secretary General	Karine Van de Velde	<a href="mailto:kvdv@antimony.be">kvdv@antimony.be</a>	+32 (0) 3 297 60 92
Office Manager	Nathalie Francis	<a href="mailto:Nathalie@antimony.be">Nathalie@antimony.be</a>	+32 (0) 2 762 30 93
Regulatory Scientist	Jelle Mertens	<a href="mailto:Jelle@antimony.be">Jelle@antimony.be</a>	+32 (0) 2 771 26 68